

第221回研究科委員会・第326回教員会議 議事要録

日時：令和3年8月25日（水） 13：30～

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

研究科委員会

[審議事項]

1．教務委員会

(1) 令和3年度非常勤講師計画について

資料1に基づき、番号14「風力エネルギー技術特論」の日程が決定したと説明され、承認された。

(2) 令和3年度3月修了修士博士論文・最終試験の日程について

資料2に基づき、修士論文については2月16日（水）に、博士論文については2月17日（木）に行うとの提案がなされ、承認された。

2．入学試験委員会

(1) 令和3年度10月期及び令和4年度4月期入学大学院入試合否判定について

回収資料に基づき、8月20日（金）に行なわれた大学院入試の合否判定が行なわれた。共生システム共生システム理工学類学専攻博士前期課程については、令和3年度10月期入学一般：志願者1名、合格者1名、令和4年度4月期入学一般：志願者49名、合格者46名、4月期入学社会人：志願者1名、合格者1名が提案され、了承された。環境放射能学専攻修士課程については、2名（内推薦1名）の志願者全員を合格とすることが提案され、了承された。また、同博士後期課程については、環境放射能学専攻志願者1名、合格者1名が提案され、了承された。その他、合格者の男女別人数などの情報が提供された。

(2) 令和4年度共生システム共生システム理工学類学研究科（博士前期課程・博士後期課程）第2次学生募集の実施について

資料3に基づき、第2次試験を11月27日（土）に実施したいとの提案があり、承認された。

[報告事項]

1．学生生活委員会

(1) 日本学生支援機構大学院奨学金返還免除者の決定について

共生システム理工学類の学生生活委員会から推薦した4名については、全員半額免除となった、との報告がされた。

(2) 入学料未納除籍について

外国人留学生1名の入学料未納による除籍が報告された。

教員会議

[審議事項]

1．学類長

(1) BYODに伴うノートPCのスペック等について

資料4に基づき、9月の教務協議会へ報告する共生システム理工学類学類としてのノートPCのスペックや大学への要望等について説明され、質問や要望等が出された。引き続き、8月末を目安に意見聴取することとした。

2．教務委員会

(1) 令和3年度非常勤講師計画について

資料1に基づき、番号43「（新）博物館実習」の日程等が決定した、との説明があり、了承された。

[報告事項]

1 . 教務委員会

(1) 研究室配属希望結果について

資料5に基づき、報告された。自コースの研究室へ行けない学生が出る可能性がある、との説明があった。

(2) 転学類について

共生システム理工学類への転学類生は0であること、共生システム理工学類から行政政策学類へ1名の転学類が認められた、との報告があった。

(4) 第49回全学教務協議会について

(報告事項)

・キャリアセンター設置に向けての検討について(中間報告)

資料6に基づき、共通目標を設定したことなど、これまでの検討内容や今後の検討スケジュールについて説明された。

・全学FD研究会の日程について

今年度の全学FD研究会は、10月28日(木)10:30~授業アンケートをテーマに実施する、との報告があった。

・非常勤講師の労働契約について

資料7に基づき、通算で10年を超える労働契約の締結に関する説明があった。

2 . 奨学寄附金の受入について

奨学寄附金2件、共同研究2件、受託研究2件が報告された。

3 . その他

(1) 入試広報委員会

・学類HPお知らせ欄のアクティビティを上げたいので、受賞などあった際にはスタッフ専用ページのお知らせの登録機能を用いて登録いただきたい、とのアナウンスがあった。

・7月25日に定員を125名に制限して実施したオープンキャンパスについて、アンケートの結果では8割が福大を志望しており福大に入学したい生徒が来てくれたようだ、との報告があった。

教育研究評議会

第361回(7月20日開催)報告

【審議事項】

(1) 第4期中期計画(指標含む)第三次案について(戻り報告)【資料1】

各学類教員会議等に意見聴取していた結果について戻り報告があった。共生システム理工学類長からは、第4期中期目標(素案)の各関連項目について、資本を集めることや「学士・修士一貫プログラム」の制度化、「再生可能エネルギー」の再検討等の意見が出された、との報告があった。

(2) 大学院の改革について【資料なし】

総務担当理事・副学長から、資料2に基づき、教員配属確定に向けた今後の対応、教育プログラムの具体化に向けた検討の進め方について提案があった。共生システム理工学類長からは、疑問については役員会で答えてほしいと要望したことや、共生システム理工学類としてはコース制の改変等早期に学類改革をしたい、教員の移籍結果に基づいて研究科を改革していく、といった説明があった。

第362回(8月3日開催)報告

【審議事項】

(1) 大学院の改革について【資料4】

資料4に基づき、教員配属確定に向けた各研究科との意見交換結果及び今後の対応の説明、「各研究科共通前文」及び「地域デザイン科学研究科の設置の趣旨及び必要性」の役員会案の骨子の提案、「各専攻のミッションと育成する人材像」に係る修正案及び骨子の提案、「定員規模」及び「設置準

備室メンバー」の確認があった。また、定員未充足対策WGによる「中間報告」の説明があった。定員規模については、共生システム理工学類としては40～45名、内IER5名あたりで考えているとの説明があった。

【報告事項】

(1) 令和3年度福島大学研究・地域連携成果報告会(会津若松)の開催について【資料2】
9月26日(日)に会津若松市で開催する研究・地域連携成果報告会について報告があり、参加の依頼があった。

(2) キャリアセンター設置に向けての検討について(中間報告)【資料3】
資料3に基づき、キャリアセンター設置検討WGの中間報告があり、検討課題及び検討スケジュール、共通目標に基づくキャリア教育及びキャリア支援、専任教員の業務内容、今後のスケジュールについて説明があった。

運営会議

第162回(7月27日開催)報告

(1) キャリアセンター設置に向けての検討について(中間報告)【資料1】

第362回評議会報告

(2) サバティカル研修制度の運用改善に向けて【資料2】

サバティカル研修制度の運用改善に向けて、過去の検討状況及び現状の学内規則等の確認があった。また、各学類の運用実態を調査するので、回答いただきたいとの説明があった。

第163回(8月24日開催)報告

(1) サバティカル研修制度の来年度からの運用改善について【資料1】

サバティカル研修制度の運用改善について報告があり、来年度から抜本的な見直しを行うまでの間、現行の枠組みを維持した上で、サバティカル取得に伴う非常勤講師任用にかかる経費については、原則手当をしないこと、サバティカル研修後にその成果を公表ないし還元しうる教員に対して取得を認めることとする旨説明があった。

(2) その他 電気・ガス・水道使用量について(7月分)【資料3】

資料に基づき報告された。